

卓話 「犯罪情勢等と暴力団排除条項について」

高崎進様

1 県下・全国の犯罪情勢と警察の対応

○概況 昨年1年間の鹿児島県内の刑法犯の認知件数は、9,276件で、統計で確認できる、昭和21年以降、初めて1万件を下回った。全国の刑法犯認知件数も昨年は132万件余りで、11年連続の減少。



認知件数が減ったとはいえ、振り込め詐欺は後を絶たず、殺人事件など凶悪事件も発生しており、治安が改善したという実感までには至っていない。

○ 検挙率低迷の要因と警察の対応 犯罪の悪質巧妙化や様々な検挙率低迷要因があるが、警察は、迅速な事件解決のために、情報収集能力など捜査員個々のレベルアップを図るとともに、「サイバー犯罪対策班」「女性だけの捜査係」新設などで犯罪抑止を図ろうとしている。

2 暴力団情勢について

○ 全国の情勢 昨年末時点の暴力団勢力は約5万8,600人で、平成4年の暴力団対策法施行後、初めて6万人を切った。

○ 鹿児島県の情勢 県内の暴力団員は、平成25年末現在約470人で、昭和21年以降、初めて500人を割った。

3 暴力団対策としての暴力団排除条項

○ 暴力団の最近の特徴 本質に変化はなく、大規模暴力団による寡占化、不透明化、資金源活動の多様化・巧妙化が進んでいる。

○ 対応策としての暴力団排除条項 暴力団排除条項とは、個人事業者や企業等と取引相手との契約書や約款等に

① 暴力団等反社会的勢力とは取引しないこと

② 取引開始後反社会的勢力と判明したら解約することを盛り込むことで反社会的勢力との取引をスムーズに遮断しようとするもの。

この春、鹿児島市・県が相次いで暴力団排除条例を施行する。今が暴排条項を導入する絶好のチャンスである。

次年度委員長・副委員長会

次年度の会長・幹事をはじめ10名の委員長副委員長が集まりました。玉利会長エレクトより、次年度のRI、ガバナー・会長方針の説明があり、次年度に向けての活発な意見交換をされていました。



7/26~27

インターアクト年次大会

今年度は、鹿児島南ロータリークラブがホストクラブです。会員の皆様のご協力をお願いします。

●出席委員会報告 **出席率向上にご協力を!**

出席報告	第2710例会	4.23訂正
会員数	40 (34) 人	40 (34) 人
出席数	21 (19) 人	24 (22) 人
出席率	58.33%	66.67%

●今後の予定

5/28 (水)	第8回クラブ協議会 (地区研修協議会報告)
6/4 (水)	ロータリーを語る part4
6/11 (水)	外部卓話 鹿児島市消防局長 山下裕二様

市内ロータリークラブのプログラム

★印は例会場ないし例会時間変更

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	5/22 (木)	新旧米山奨学生を囲んで	山形屋	東南	5/27 (火)	クラブ協議会	サンロイヤル
北		会員卓話 山田賢一君	レプラント鹿児島	城西		クラブ協議会	東急イン
サザン		会員卓話	東急イン	西	5/28 (水)	クラブ協議会	山形屋
鹿児島	5/23 (金)	外部卓話中央消防署木下様	山形屋	西南		地区協議会報告	ゆうづき
中央	5/26 (月)	クラブ協議会	山形屋				